

アシュアランスバックアップNFS " ; 古いファイルハンドルエラー" ; の修正

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

[検証](#)

はじめに

このドキュメントでは、Cisco DNA Centerでコマンドdf -hを実行する際のNFS「Stale file handle」エラーのトラブルシューティングと解決方法について説明します。

前提条件

要件

- Linuxファイルシステム管理の知識
- NFS v3またはv4の知識
- maglev CLIの完全なbashシェルへのアクセス
- NFS IPアドレスまたはホスト名とNFSディレクトリパス

使用するコンポーネント

- Cisco DNA Center 2.3.3 maglevのCLI
- NFS v4

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

問題

Cisco DNA Centerのフルバックアップ（アシュアランス）は、Cisco DNA Centerのバックアップ設定でNFSが正しく設定されていたとしても、NFSが正しくマウントされていないため失敗する可能性があります。df -hコマンドを使用してCisco DNA Center(CDNA)bash内のファイルシステ

ムをチェックすると、コマンド出力の先頭にエラー行が表示されることがわかります。df:
/data/nfs: Stale file handle

このNFSの古いハンドルファイルエラーは、複数の理由により、どのLinuxシステムでも発生する可能性があります。最も一般的なのは、ディスクデバイスのマウントされたファイルinodeに何らかの変更があるためです。たとえば、サービスまたはアプリケーションがファイルを開いたり作成したりすると、そのファイルは削除されて閉じられ、同じファイルへの参照が古くなったり無効になったりするために、同じファイルへのアクセスや削除が再試行されます。つまり、ファイルハンドルが参照するファイルまたはディレクトリが別のホストによって削除される際に、クライアントがそのオブジェクトへのアクティブな参照を保持している間は、ファイルハンドルは古くなります。

例 :

<#root>

maglev@maglev-master-10-10-10-10:~\$

df -h

df: /data/nfs: Stale file handle

Filesystem	Size	Used	Avail	Use%	Mounted on
udev	189G	0	189G	0%	/dev
tmpfs	38G	9.4M	38G	1%	/run
/dev/sdb2	47G	28G	18G	62%	/
tmpfs	189G	0	189G	0%	/dev/shm
tmpfs	5.0M	0	5.0M	0%	/run/lock
tmpfs	189G	0	189G	0%	/sys/fs/cgroup
/dev/sdb4	392G	123G	250G	34%	/data
/dev/sdb3	239M	163M	76M	69%	/boot/efi
/dev/sdc3	166G	5.6G	152G	4%	/var
/dev/sdc1	671G	102G	536G	16%	/data/maglev/srv
/dev/sdc2	923G	175G	702G	20%	/data/maglev/srv/maglev-system
/dev/sdd1	5.2T	127G	4.9T	3%	/data/maglev/srv/ndp
glusterfs-brick-0.glusterfs-brick:/default_vol	923G	187G	699G	22%	/mnt/glusterfs/default_vol
glusterfs-brick-0.glusterfs-brick:/ndp_vol	5.2T	181G	4.9T	4%	/mnt/glusterfs/ndp_vol
tmpfs	38G	0	38G	0%	/run/user/1234

maglev@maglev-master-10-10-10-10:~\$

同様の出力が、magctl sts backup mount displayコマンドによって提供されます。

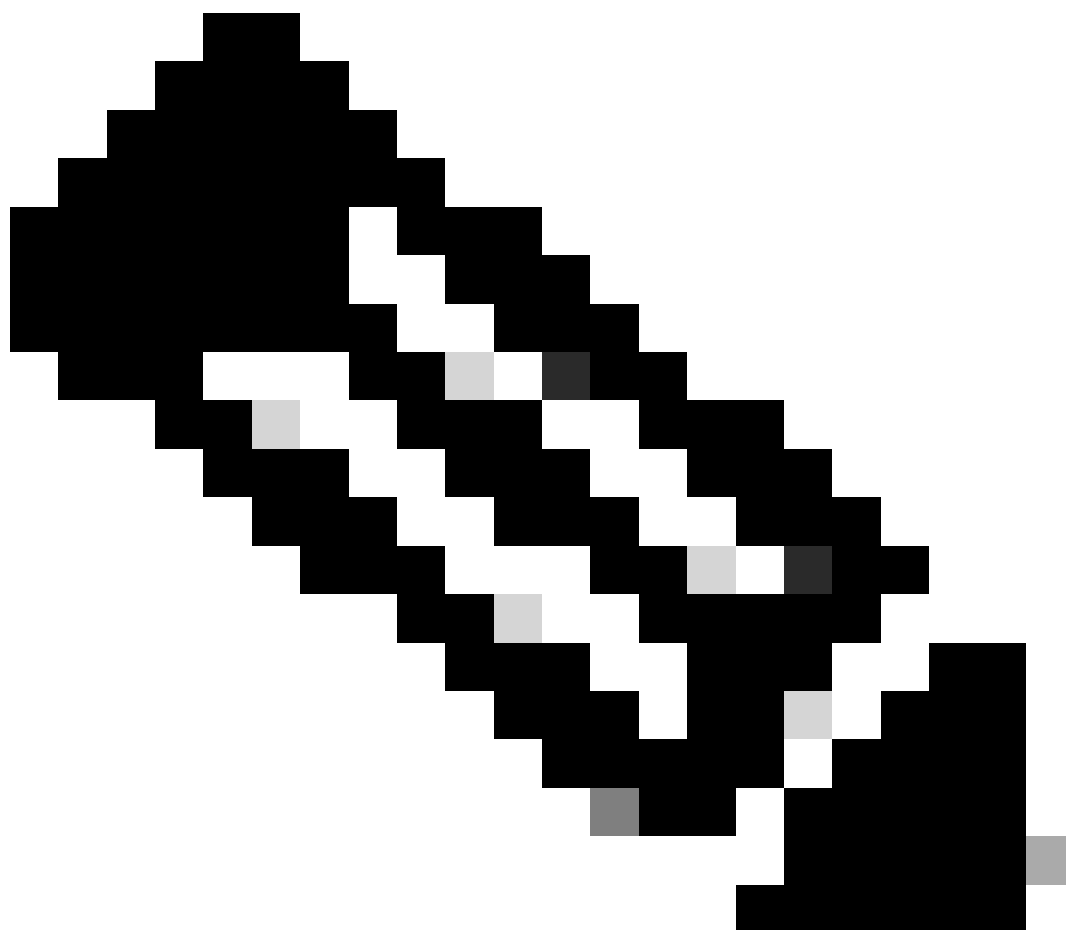
例 :

<#root>

maglev@maglev-master-10-10-10-10:~\$

magctl sts backup mount display

ERROR: df: /data/nfs: Stale file handle



注：同じNFSサーバでも、異なるマウントポイントで、複数の古いファイルハンドルエラーが見つかる可能性があります。ソリューションは、各古いファイルハンドルエラーに適用できます。

解決方法

1.- NFS設定を削除して、システムからNFSを削除します。Cisco DNA Centerメニュー> Settings > Backup & Restore > Configure > Cisco DNA Center (NFS)の順に移動し、Removeボタンをクリックします。

2.- 次のコマンドを実行して、システム内のNFSの古いマウントポイントを検証します。

```
$ mount | grep -i <NFS_IP_ADDRESS_OR_FQDN>
```

例：

```
<#root>
```

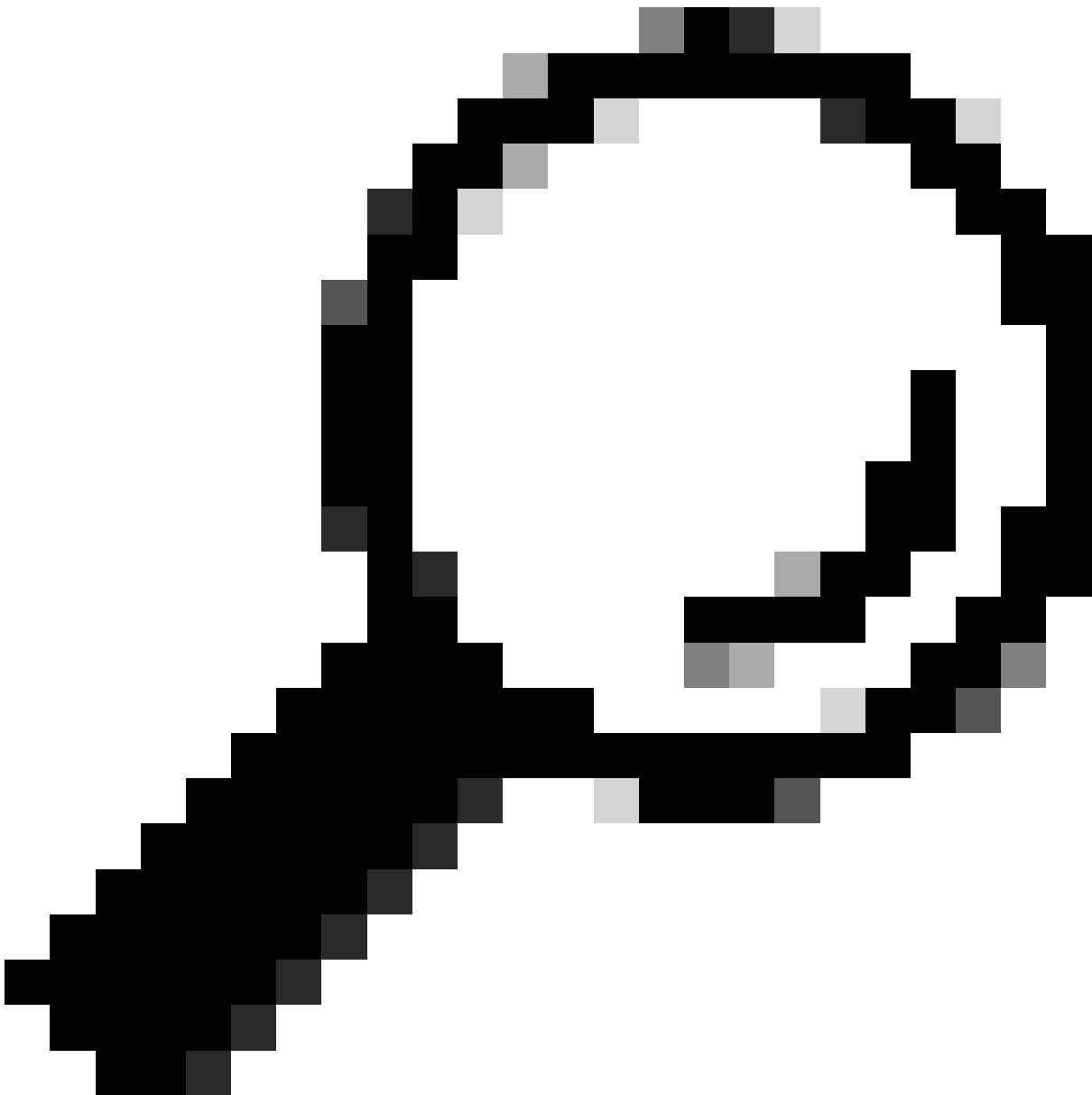
```
maglev@maglev-master-10-10-10-10:~$
```

```
mount | grep -i 192.168.100.1
```

```
192.168.100.1:/dna_backups/dna_assurance_data on /data/nfs
```

```
type nfs4 (rw,relatime,vers=4.2,rsize=1048576,wsiz=1048576,namlen=255,acregmin=60,acdirmin=60,soft,pr
```

同じNFSサーバでも、マウント・ポイントが異なる複数の結果が見つかります。これらはすべてアンマウントする必要があります。



ヒント: maglev CLI(magshell)でセキュアシェル(SSH)が有効になっている場合は、`_shell`コマンドを実行して完全なbashを有効にすることができます。Cisco DNA Centerのバージョンによっては、完全なmaglev bashシェルへのアクセスを許可するために、TACからのトークンが必要になる場合があります。

3. – 次のコマンドを実行して、ファイルシステム内で「古いファイルハンドル」エラーが発生しているNFSマウントポイントを手動でマウント解除します。

```
$ sudo umount <NFS_IP_ADDRESS_OR_FQDN>:/remote/NFS/path /local/mounting/point
```

例 :

```
<#root>
```

```
maglev@maglev-master-10-10-10-10:~$
```

```
sudo umount 192.168.100.1:/dna_backups/dna_assurance_data /data/nfs
```

4. – ファイルシステムからNFSをアンマウントしたら、`df -h`コマンドを実行して「Stale file handle」エラーが表示されなくなったことを再確認できます。まだ古いファイルハンドルのエントリが表示されている場合は、ステップ2と3を繰り返します。これは、NFSにも使用中の異なるマウントポイントがあり、そのマウントポイントもアンマウントする必要がある場合があるためです。

5. – 最後に、Cisco DNA Centerメニュー> Settings > Backup & Restore > Configure > Cisco DNA Center (NFS)に移動し、NFSを再設定します。

検証

`df -h`コマンドを実行し、さらに`magctl`を使用してバックアップ設定のNFSマウントポイントを確認することにより、NFSが正しくマウントされ、「古いファイルハンドル」エラーがないことを検証します。

```
<#root>
```

```
maglev@maglev-master-10-10-10-10:~ $
```

```
magctl sts backup mount display
```

```
+-----+-----+-----+-----+
| remote                | type | used      | available | percentage |
+-----+-----+-----+-----+
|
192.168.100.1:/dna_backups/dna_assurance_data/
```

| nfs4 | 6369873920 | 3744850944 | 63% |

+-----+-----+-----+-----+

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。